

## 祖父のお米

今治市立桜井中学校 2年 阿部 周

僕は毎日お米を食べています。日本人なら大抵の人がそうだと思います。しかし、毎日食べているにもかかわらず、飽きないのです。たまにふりかけをかけたり、お茶漬けにしたりして味をプラスして楽しみますが、そうやって毎日白米を食べています。うちのお米は、祖父が代々いくつもある田んぼで頑張って育ててくれたお米です。祖父の代は、祖父一人で年間通して育ててくれました。育てる、と言うと簡単にできるもののように聞こえますが、実際はそうではありません。春には田んぼの準備から始まります。固くなった土地を耕し、更に水を入れて耕します。約一カ月かけて苗を育てます。育苗箱を用いて行いますが、何百個も使用し作ります。稲苗も、元の種となる、もみを先に消毒しなければいけません。ようやく育った苗を田に植

えるところまでこれます。その間も、昼夜間  
わす、水の管理や害虫駆除、除草など、どん  
なに夏場で暑くても怠ることはできません。  
秋になり、ようやく稲刈りの時期がきても、  
天候に左右されます。稲刈りをして、稲束か  
らもみを分解させます。しかし、この状態で  
は白米にはなりません。脱穀という作業があ  
り、ようやく玄米になります。精米をして、  
ぬかなどを取り除き白米となります。冬が来  
ても、土を耕し管理しなければ、来年の白米  
は出来ないのです。  
僕は、小学校の課題授業で米作りを体験し  
ました。ほとんど手作業でした。祖父は機械  
を使っていますが、地域の人達に助けもら  
い、僕は、田植え、稲刈り、稲干し、脱穀の  
作業をしました。手作業であったため、短時  
間でも大変な作業でした。その時に、祖父は  
夜が明ける前から、暗くても年中働いている  
ことに感動しました。「手作業じゃないんだ、  
楽だな。」と思っってしまったことが恥ずかし

く な り ま し た 。 な ぜ な ら 、 僕 が し た 作 業 は 、  
米 作 り の ほ ん の 一 部 で 、 一 枚 の 田 ん ぼ を 百 人  
以 上 で 作 業 し た か ら で す 。  
祖 父 が 育 て た 食 卓 に 欠 か せ な い 白 米 が あ り 、  
こ の 味 が あ た り 前 だ と 思 っ て い た 事 も 崩 れ る  
時 が や っ て き ま し た 。 祖 父 は 体 調 を 崩 し 、 心  
臓 病 と な り ま し た 。 祖 母 や 母 か ら 聞 く と 、 も  
う 何 年 も 前 か ら 悪 か っ た の だ と い う 事 も 知 り  
ま し た 。 負 担 が 大 き す ぎ る の で 、 田 植 え を し  
た ま ま で 、 今 年 最 後 ま で 育 て る こ と が で き ず 、  
知 人 や 親 せ き の 助 け を か り て す る こ と に な り 、  
来 年 か ら も 目 途 が 立 ち ま せ ん 。 も う す ぐ 稻 刈  
り と い う 時 期 が 来 る 時 に 、 祖 父 は 心 臓 の 手 術  
を し ま す 。 も う 二 度 と 、 祖 父 の お 米 が 食 べ ら  
れ な く な る か も し れ ま せ ン 。 そ う 思 う と 、 あ  
た り 前 だ と 思 っ て い た 事 が 申 し 訳 な く な り ま  
し た 。 食 べ た く な い と 残 し た 事 も あ り ま す 。  
祖 父 が 朝 早 く か ら 行 動 し た り す る こ と に 、  
ひ ど い 言 葉 を 投 げ た 事 も あ り ま す 。 勤 め に 出  
て い た 祖 父 が 引 退 し て か ら 米 作 り を 始 め た 訳

ではありません。勤めていた時、祖父が生ま  
れた時には兼業農家でした。自分にそれがで  
きるのか、と考えた時に「無理」と思いまし  
た。祖母も母も同じように言います。  
あたり前は、あたり前ではない。と考えま  
した。どんな事にも何かしらの苦労が存在し、  
あたり前になっっているものだと思います。そ  
して、どんなもの、人、事柄に対しても感謝  
の気持ち忘れてはいけないのだと、強く思  
いました。「祖父にはとても感謝している」  
という気持ちは、祖父のお米が食べられなく  
なるかもしれないと思ひ芽生えました。これ  
からも、祖父以外のことでも失ってから気づ  
くことがあるかもしれません。僕には感謝を  
するべきものがたくさんあります。そして、  
まずは祖父に「ありがとう」と共に、伝えた  
いことがあります。恥ずかしくて直接は言え  
ませんが、いつか伝えます。  
「じいちゃんのお米は、最高にうまい!!」